

肯定的な情報を発信

ゲイのユーチューバーかずえちゃん

伏見・京都橘高で授業 活動経緯など語る

動画投稿サイト「ユーチューブ」で、「意識したが、ワーキングホリデーでカナダに渡った30歳まで、家族以外には隠していた。カナダで同性カップルの育児や結婚式を目にした。なぜ、日本では堂々と生きられないのか」と考えたことが、帰国後の現在につながっていると説明した。

思い、発信を始めた」と語った。
同高が総合学習の環境で、かずえちゃんが非常勤嘱託として勤める化学メーカー三洋化成工業(東山区)に依頼した。西日で計約320人の生徒が聴いた。
(中西英明)

動画投稿サイト「ユーチューブ」で、LGBTQ(性的少数者)に関する情報を発信しているゲイのユーチューバーかずえちゃん(38)が15、16の両日、京都市伏見区の京都橘高3年生に授業をした。自身も同年代の時に性的指向に悩んだことや、ユーチューブを始めた経緯を語った。福井市出身のかずえちゃんは、小学5年の頃に自身の性的指向を

「子どもい」と指摘。「子どもの頃、ゲイを肯定的に捉えられる情報もあつたとほしかった。『じゃあ、自分で作ろう』と

日本では「長男は早く結婚を」「男は泣くな」といった考えがすり込まれ、「性自認や性的指向を明かしく



高校生に向け、LGBTQに関する自身の考えを語ったかずえちゃん(京都市伏見区、京都橘中・高)